

第5章：住民及び関係者の意向

1. 移動制約者の意向

1) 調査の手法とスケジュール

いきいき百歳体操など、特に高齢者が集まる会合等に出向き、直接ご意見をうかがった。意見交換のテーマとして、次のような項目を予め設定した。

- ・生活の維持のために出かける場所と目的
- ・現状における生活を維持するための移動手段確保状況及び将来への不安の有無
- ・これからの生活交通確保に関して要望したいこと

表：あったかふれあい事業における意見交換会の実施一覧

	開催日時	地区	会場
平成 30 年 2 月	9 日（金） 10:00～	小川地区	小川集会所
	9 日（金） 13:30～	東谷地区	東谷集会所
	13 日（火） 13:30～	安田・中山地区	地域ふれあいセンター
	14 日（水） 11:00～	安田・東島・唐浜・ 正弘・中山地区	保健センター
	14 日（水） 13:30～	唐浜地区	唐浜老人里の家
	15 日（木） 14:00～	西島・不動地区など	保健センター
	15 日（木） 10:00～	薬師地区	町立福祉館
	16 日（金） 10:40～	不動地区	不動集会所
	19 日（月） 14:00～	東島地区	東島老人憩いの家



写真：意見交換会の様子

2) 各地区での意見交換結果まとめ

次項から、各地区における意見交換において出された意見等をまとめる。

小川地区

日時：平成 30 年 2 月 9 日（金） 10:00～
会場：小川集会所
参加者：10 名（男性 3 名 女性 7 名）
<p>■現在の移動手段について</p> <ul style="list-style-type: none">・自ら運転できる人…4 人 ⇒5 年後はやめると思うと答えた方 1 人・家族や近所の方が連れて行ってくれる…少数 <p>■生活維持のために出かける場所と目的、その移動手段について</p> <p>（買い物）</p> <ul style="list-style-type: none">・週 1 回（水曜の 14:00～15:00）来てくれる移動販売を利用している。値段や品揃え、賞味期限など不満はあるが、来てくれるのがありがたい。今後も続けてくれるか不安。・サンシャインゆい等、タクシーを使うと往復 10,000 円かかる場合がある。・タクシー以外に、買い物に行く手段の見通しはなく、不安。 <p>（病院）</p> <ul style="list-style-type: none">・ほぼ全員が月 1 回は病院を利用している。・和田医院、田野病院、はまうづ医院、県立あき病院などを利用している。・朝早く病院に行ってもいっぱいなため、時間をずらしてお昼前に行くようにしている。・移動には主にタクシーを使っている。好きな時間に行けて、家の前まで来てもらえるが高い。 <p>（全体）</p> <ul style="list-style-type: none">・東部交通が来ている道まで出て行くのが大変。・時刻が合わず、仕方なくタクシーを使う。 <p>■移動手段の確保について町に要望したいこと</p> <ul style="list-style-type: none">・週 1 日でも新しい移動手段の運行を開始してくれるのであれば、その日に用事をまとめてバスの時間に合わせるのは可能。むしろ合わせなくてはいけない。それほど困っているし不安。・無料の必要はない。・せめて安田の中心までには行きたい。そこからは乗り継ぎをする。

東谷地区

日時：平成30年2月9日（金） 13:30～

会場：東谷集会所

参加者：女性8名

■現在の移動手段について

- ・自ら運転できる人…1人
- ・家族や近所の方が連れて行ってくれる…3人
- ・自転車…1人
- ・タクシー…2人
- ・鉄道…3人
- ・バス…4人

■生活維持のために出かける場所と目的、その移動手段について

（買い物）

- ・主にサンシャインゆいに買い物に行く。（病院のついでに）
- ・輝るぽーと安田の移動販売を利用している（第一・第三金曜日 14:45～）

（病院）

- ・田野病院、なかとう医院に通っている人が多い。
その他…和田医院、県立あき病院。
県立あき病院に行くにはタクシーを使って、2000～3000円かかる。
- ・みやた歯科、奈半利町の歯医者に通っている人もいる。

（全体）

- ・鉄道・バスを使う場合、乗り場まで行くには、押し車などで歩いていく。
- ・バスに押し車を乗せるのは申し訳ない気がする。
- ・田野のサンシャインゆいに行った際、駅にエレベーターが無いので、買い物袋を持って階段を上がるのが大変。

■移動手段の確保について町に要望したいこと

- ・この場に来ていない、来ることができない人たちの意見も聞いてほしい。そういう気持ちを持ってもらいたい。日にちを決めて移動手段について困っている人向けに集会を開く等。

■その他

- ・東谷集会所の前の道を観光バスやタクシーが通り、歩くのが怖い。
- ・田野駅に早くエレベーターをつけてもらいたい。

安田・中山地区

日時：平成30年2月13日（火） 13:30～

会場：地域ふれあいセンター

参加者：22名

■現在の移動手段について

- ・自ら運転できる人…4人
- ・家族や近所の方が連れて行ってくれる…15人
- ・タクシー、鉄道、バスも使う。
- ・10人以上が3年後に不安に思っている。しかし対策はしていない。

■生活維持のために出かける場所と目的、その移動手段について

（買い物）

- ・主にサンシャインゆい、輝るぼーと安田で買い物をする。
- ・【中山地区】農協の移動販売も利用している。（木曜日）
- ・非日用品（糸糸など）は安芸に買いに行く。
- ・週2日ぐらいは買い物に行きたい。

（病院）

- ・ほぼ全員が病院を定期的にご利用。
- ・安田町内、田野町、安芸市の病院を利用している。

（全体）

- ・【中山地区】バスの時刻が合わない。病院に行くには朝が早すぎる。
- ・【中山地区】バス乗り場までが遠い。国道まで出るのが大変。

■移動手段の確保について町に要望したいこと

- ・安田町にスーパーがほしい。安田町に住んでいるのだから、安田町にお金を落としたい。
- ・輝るぼーと安田はお惣菜等があつていいが、もっと日用品がほしい。

保健センター

日時：平成 30 年 2 月 14 日（水） 11:00～

会場：ほたる喫茶（保健センター内）

参加者：女性 12 名

■参加地区

安田中心、東島、唐浜、正弘、中山

■現在の移動手段について

- ・家族や近所の方が連れて行ってくれる…7 人
- ・自転車…1 人
- ・タクシー…4 人
- ・バス…4 人

■生活維持のために出かける場所と目的、その移動手段について

（買い物）

- ・サンシャインゆい、輝るぼーと安田、奈半利マルナカ、農協を利用している。
- ・1 人で行っている人は 3 名。行く際はバスを使っている。
- ・社協に連れて行ってもらう。

（病院）

- ・社協に連れて行ってもらう。

（全体）

- ・バス停まで行くのがしんどい。東部交通バスのダイヤが不便。朝が早い。
- ・バスの乗り換えが可能な人もいる。

■移動手段の確保について町に要望したいこと

- ・バスが運行するなら、できれば、家から目的地まで乗せてくれたらありがたい。

唐浜地区

日時：平成30年2月14日（水） 13:30～

会場：唐浜老人里の家

参加者：女性8名

■現在の移動手段について

- ・自ら運転できる人…3人
3年後は不安に思っている。(80歳になったら返納しようと思っている)
- ・家族や近所の方が連れて行ってくれる…3人
- ・バス…2人(利用したことがあるのは4人)
- ・自転車…1人(もう危ないのでやめようと思っている)
- ・天気が悪い時はタクシーを使う。

■生活維持のために出かける場所と目的、その移動手段について

(買い物)

- ・主にサンシャインゆいに買い物に行き、安芸方面にも行く。
- ・輝るぽーと安田の移動販売を利用している。
- ・なかなか重いものは買えない。
- ・もし移動手段ができるのであれば週2回買い物に行きたい。
- ・安田町には量販店がない。

(病院)

- ・安田町内、安芸、田野の病院を利用。

(その他)

- ・「すかカード」の認知度は低い。

■移動手段の確保について町に要望したいこと

- ・唐浜東停留所に信号・横断歩道がほしい。バスを降りた際、怖くて北側に渡れない。
- ・唐浜中央通り停留所の田野方面行に待合室がほしい。特に冬は寒く、家族からバスは止めておくように止められる。
- ・バスの時刻が遅れる。乗り過ぎたのかと心配になる。
- ・安田駅から中心地までが遠い。
- ・東部交通の馬路線はダイヤが朝早く不便。

保健センター

日時：平成30年2月15日（木） 14:00～

会場：保健センター

参加者：女性7名（地区：西島、不動など）

■現在の移動手段について

- ・自ら運転できる人…2人（高知市は交通量が多くて行けない人…1人）
- ・家族や近所の方が連れて行ってくれる…2人
- ・一人の時はタクシーチケットを使い、タクシーで移動している。
- ・夫が今は運転しているが、自分では運転はいやだと話している。しかし乗れなくなると不安なため免許の返納を躊躇している。
- ・3年後は不安に思っているが対策はまだしていない。

■生活維持のために出かける場所と目的、その移動手段について

（買い物）

- ・主にサンシャインゆいに行き、奈半利のマルナカにも行く。
- ・近所の人に買ってきてもらったりしている。

（病院）

- ・高知市の病院に行くときは鉄道を利用している。

■移動手段の確保について町に要望したいこと

- ・安芸のような循環バスが走ってほしい。
- ・地元でスーパーが欲しい。昔から安田町の住民は地元で買い物をしない人が多い。
- ・馬路線にはほとんど人が乗っていない。昔は子供が乗っていたが最近は見なくなった。
- ・駅が中心地から遠い。タクシーを使わないといけない。

薬師地区

日時：平成30年2月15日（木） 10:00～

会場：町立福祉館

参加者：女性8名

■現在の移動手段について

- ・自ら運転できる人…0人
- ・家族や近所の方が連れて行ってくれる…5人
3年後については連れて行ってくれるか分からない。
- ・バスは、ここ1年で6人が乗ったことがある。
- ・雨の日はタクシーを利用している。

■生活維持のために出かける場所と目的、その移動手段について

（買い物）

- ・サンシャインゆい、輝るぼーと安田、ツルハドラッグ、奈半利マルナカを利用している。
- ・月2回は社協の買い物支援サービスを利用している。（第1、第3木曜日）
- ・以前は輝るぼーと安田の移動販売があったが、買う人が少なく申し訳ないため休止している。
- ・輝るぼーと安田に、肉や魚、果物、日用品がもっと欲しい。

（病院）

- ・県立あき病院に行く人が多く、バスで通っている。
- ・なかとう医院、和田医院には自転車・徒歩で行っている人が多い。

（その他）

- ・基本的には午前中に用事を済ませたい。
- ・「ですかカード」の認知度は低く、お金を払う手間が省ける、ポイントが貯まるなど興味がある人は多い。

■移動手段の確保について町に要望したいこと

- ・ぜひ旧道にバスを走らせてもらいたい。
- ・鉄道駅までが遠く、不便を感じる。
- ・バス停に待合室みたいなものが欲しい。また横断も危険なため、信号・横断歩道もつけてもらいたい。
- ・以前バスを利用した際、押し車をバスに乗せると次回からは載せないように運転手から注意された。それから乗りづらくなった。

不動地区

日時：平成30年2月16日（金） 10:40～

会場：不動集会所

参加者：18名（女性13名 男性5名）

■現在の移動手段について

- ・自ら運転できる人…11人
- ・家族や近所の方が連れて行ってくれる…4人
- ・バス利用…4人（直近1年間）
- ・運転できる人が多いが3年後は10人以上が不安に思っている。しかし対策はまだしていない。

■生活維持のために出かける場所と目的、その移動手段について

（買い物）

- ・買い物は基本、東方面に行く。（主にサンシャインゆい、奈半利マルナカ）
- ・安田には買い物する場所が少ない。
- ・輝るぼーと安田では日用品、料理のための素材がどうしても足りない。
- ・移動販売も週に1回来てくれたらうれしい。

（病院）

- ・病院は西方面が多い。（あき病院、和田医院、なかとう医院、医大）

（その他）

- ・東部交通のバスを使ったことがある人は少ない。便数を知っている人は少なく、他の地域よりも便数が多いが少ないと感じていた。便利だとは思っていなかった。

■移動手段の確保について町に要望したいこと

（バスについての意見）

- ・バスの乗り降りで、県道を横断しなくてはいけないが怖いと感じる。
- ・バス停まで自転車で行くが止める場所がない。
- ・冬は寒く、夏は暑い中待たなくてはいけないため待合室が欲しい。
- ・鉄道は時刻通りに来るが、バスは時刻が不規則。
- ・バスは目的地まで行ってくれないので、タクシーを使ってしまう。

（移動手段について）

- ・バスをもし通してもらっても、安田町内をぐるっとするのでは使うかどうか分からない。便数が少なく、時間が限られるのもあるが、現在田野まで買い物に行っているため田野までほしい。広域で考えてもらいたい。

東島地区

日時：平成30年2月19日（月） 14:00～

会場：東島老人憩いの家

参加者：女性11名

■現在の移動手段について

- ・自ら運転できる人…2人（車もそろそろやめないといけないと思っている人もいる）
- ・家族や近所の方が連れて行ってくれる…2人
- ・他の人はタクシーを使っている。タクシーばかりだとお金が高くなる。
- ・バスを利用することはほとんどない。
- ・移動手段がなく、将来は不安に思っている。

■生活維持のために出かける場所と目的、その移動手段について

（買い物）

- ・サンシャインゆいに行っている人がほとんどで、奈半利マルナカに行く人が少数。生協なども利用している。
- ・病院のついでに行くことが多い。
- ・週1～3回の頻度で買い物には行く。頻繁に行けない人は生協を利用している。
- ・輝るぼーと安田の移動販売（毎月隔週の月曜日）が来てくれているが、集会所に来る人しか買えない。またすべてが揃うわけではない。

（病院）

- ・和田医院、なかとう医院には、ほぼ全員が通院。頻度としては月1回。
- ・みやた歯科に通っている。
- ・高知市の病院には鉄道を使っている。

（その他）

- ・今は病院、買物以外にはほとんど出かけない。

■移動手段の確保について町に要望したいこと

- ・移動手段がない人たちは多く、東島をぐるっと回るバスが欲しい。その際は100mぐらいなら、バスが通る道路まで歩いていくことは出来る。
- ・鉄道、東部交通バスと時刻を合わせてもらいたい。寒い中待つのは大変。しかし東部交通バスに乗るときに、荷物を持って国道を横断するのは難しい人もいる。
- ・移動手段があるなら、いろんなところに行きたいと思う。みんなで行くイベントがあれば楽しいと思う。

2. 交通事業者の意向

1) ヒアリング事業者

2月21日(水)	安田ハイヤー
	中野ハイヤー
3月1日(木)	土佐くろしお鉄道

2) 得られた意見

安田ハイヤー	<p>■現状について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3~4人体制で業務にあたっている。 ・利用は午前中が多く、水曜日は病院が休みなため利用者は少ない。夜24:00~1:00の利用はほぼない。 ・タクシーを利用している人は固定化しており、短い距離の利用が多く、病院・買い物に利用している。お遍路さんからの予約もあるが、2016年から減ってきている。 <p>■今後について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夜の営業はやめようと思っている。 ・町をぐるぐる回る、または路線を決めるのではなく、役場や社会福祉協議会、集落活動センターで予約・配車するのはどうか。新しい移動手段を整備するのであれば、デマンド方式による運行がいいと思う。
中野ハイヤー	<p>■現状について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ジャンボタクシーは中学校のスクールバスや神峯寺のお遍路さんを乗客としている。 ・利用は午前中に送り迎えが多く、以降は少ない。利用者は去年と同じくらいだが、高齢者の利用者が多く長い目で見ると減少している。 ・乗客は高齢者が大半で地元の客のみ。乗る距離も短く、日頃の買い物や「なかとう医院」、「和田医院」への通院に利用している。飲みに行く人は固定で5人ほどおり、行き先は奈半利町が多い。 ・高齢者のタクシーチケットの利用が多い。使い忘れていて、3月になって慌てて使う人もいる。 <p>■今後について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新しい移動手段を整備するよりも、タクシーチケットをもっと増額してあげる方が利用者は喜ぶのではないかと考える。

<p>土佐くろしお鉄道</p>	<p>■現状について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・乗客数は平成 25 年をピークに減少している。高速道路の開通で通勤客が減ってきており、通学客はなんとか現状維持しているが、子どもが増えることはないため今後は減少傾向にある。 <p>■今後について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バスとの連携を含め、利用しやすいものにできるように考えていきたい。 ・ダイヤ改正などについて事前に情報共有は可能であり、近隣自治体には早めに伝えていく。
-----------------	--

3. 主要施設・機関の意向

1) ヒアリング施設・機関

輝るぽーと安田
安田町社会福祉協議会
安田町教育委員会
和田医院
なかとう医院 [ヒアリングではなく書面による回答]
集落活動センターなかやま
JA 土佐あき 安田中山事業所

2) 得られた意見

輝るぽーと安田
<p>■現状について</p> <ul style="list-style-type: none">・ 地元の人が6割、その他、近隣の市町村から来てくれている。 リピーターの人もあり、買物になかなか行けない安田の奥の方に暮らしている人が月1回来てくれたりもしている。・ 移動販売には、現在、東島・唐浜・東谷・ふれあいセンター、保健センターに月2回行っている。正直売り上げは厳しいが、待っていている人の所には行きたいと考えている。・ 近隣学校の給食の材料などを一括で仕入れ、仕分け配送する食材の配達業務も担っている。・ お客さんから商品を増やしてほしいという要望をもらい、商品数は増やしたが、どうしても現状の店の大きさでは置くスペースに限界がある。
<p>■今後について</p> <ul style="list-style-type: none">・ お客さんの要望には応えていきたいが難しい面が多い。・ 高齢者の人にもっと来てもらいたいと思っているが、お互いのズレ（利用者が欲しいモノとこちらが揃えられるモノ）を感じることもある。
<p>■事業運営上の悩み</p> <ul style="list-style-type: none">・ 駐車場が狭いうえ、第二駐車場の周知ができていないことが悩みである。国道から店舗前の駐車場が満杯であるのを見て、立ち寄らずに行ってしまう例も聞く。
<p>■運営担当者の意見</p> <ul style="list-style-type: none">・ 実際、小川の奥の方に住んでおり、自らの将来の移動手段について不安に思う。週1回でもバスが来てくれたらと感じる。

安田町社会福祉協議会

■現状について

- ・町のあったかふれあいセンター事業を受託し、あったかふれあいセンターを開設して、いきいき百歳体操などを行っている。送迎は希望があれば行っており、歩いて来ることのできる人は介護予防ともなるので、できる限り歩いて来るようにしてもらっている。誰でも来られるように登録制にはしていない。
- ・薬師地区では、第1、3木曜日に買い物サービスを行っており、サンシャインゆい、マルナカ、マルニなどへ行っている。その他センター事業参加者で希望があれば輝るぽーと安田などへ行っている。

■移動手段確保について

- ・中山地区の県道から離れた地区に暮らす人々は、バスが運行している県道まで出てくることが困難な状況といえる。
- ・不動地区や薬師地区、唐浜地区などでは、高知東部交通のバス停があるものの、国道を横断しないと使えない。停留所に信号機も横断歩道もない場所がたくさんある。高齢者の利用に適している状況ではない。

■今後について

- ・田野町のたのくるバスのようなものが安田町にも運行してくれるといい。
- ・安田町のタクシー会社がなくなると困るので、新しい移動手段を考えるにあたって、考慮してもらいたい。
- ・公共交通を利用することで、自分の移動手段を自分で考えて、乗り継ぎをしていくのは自分のためになるので良いことだと思う。バスの乗り方に慣れるためのバスツアー的なミニイベントはぜひ取り入れてみたいと考える。

安田町教育委員会

■スクールバスについて

- ・旧中山小中学校の統廃合に伴い、中山地区の児童生徒の登下校便として2台運行している。
- ・一般の人も乗車可能ではあるが、児童生徒が優先される。一般の人が利用する場合、予め運行時間の確認が必要である。
- ・車両が大きいので、運行するのは県道のみとしている。奥に暮らす児童生徒でも、県道のスクールバス乗り場までは出てきてもらっている。

和田医院

■ 来院者の傾向

- ・高齢者は、自分で運転するか、家族の運転で家族が休みの日に合わせて来る、またはタクシーを利用している。近くの方は歩いてくる。
- ・タクシーは雨の日には 30 分待ちとなることがある。
- ・診察の後、輝るぼーと安田で買い物をして帰る高齢者が多い。

■ 来院者のために

- ・自宅からバス停までが遠い人が多い。また、高齢者は杖やシルバーカーを押している人が多い。運賃が安く、できる限り自宅近くで乗降でき、さらにシルバーカーなども載せられる乗り物ができるといい。

なかとう医院 [書面による回答]

■ 来院者の傾向

- ・1 ヶ月に 1 回程度、定期的な診察に訪れる高齢者が多い。
- ・高齢者でも車を使える人は車、家族運転の車で来る人が多く、移動手段を持たない人はタクシーを使う傾向にある。

集落活動センターなかやま

■ 集落活動センターについて

- ・平成 27 年 12 月に開所、母体は中山を元気にする会であり、ふるさと応援隊が事務局を担っている。
- ・ここでバスを運転して、住民の足になるという話は前に出たが、大型免許を持っていても人を乗せて運転することが怖いなど意見が出た上に、誰がそれを担うか、保険、マンパワーが問題で実現できていない。
- ・おしゃべりバスを運行している。3 ヶ月に 1 回程度、「おしゃべりバスろいろい」として、ちょっとした遠足を兼ねたお出かけになっており、利用者からは喜ばれている。自分で運転できる人でも交流を目当てに参加する

J A土佐あき 安田中山事業所

■ J Aとしての事業について

- ・ J AのA・COOP、ガソリンスタンド、移動販売は、地域のライフライン事業として存続させていく。ただ、J Aが統合し、何年か経った時にどのようなになるかは誰にも分からない。隣接するガソリンスタンドはタンク工事を行い、向こう 30 年間は事業を継続できるようにしている。

■ 移動販売について

- ・ 移動販売は、週 3 回（火・水・木）。火曜日は、日浦・中ノ川・西ノ川、水曜日は小川・中里・船倉・瀬切、木曜日は間下・内京坊・和田・別所・与床といった地区を回っている。後の方に回る地区は商品が少なくなるので、奇数月と偶数月で回る順序を変更している。
- ・ 13:30 に J Aを出発し、16:00 頃に帰ってくる。途中で商品の補充ができないため、高齢者に人気のある牛乳や豆腐、パン類は多めに持って行っている。
- ・ 半年前に新しい保冷機能もついた移動販売車を購入して運行している。

